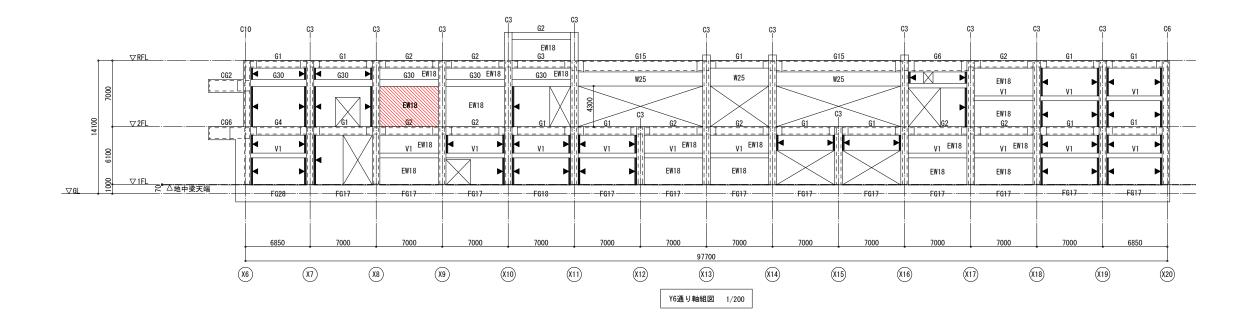
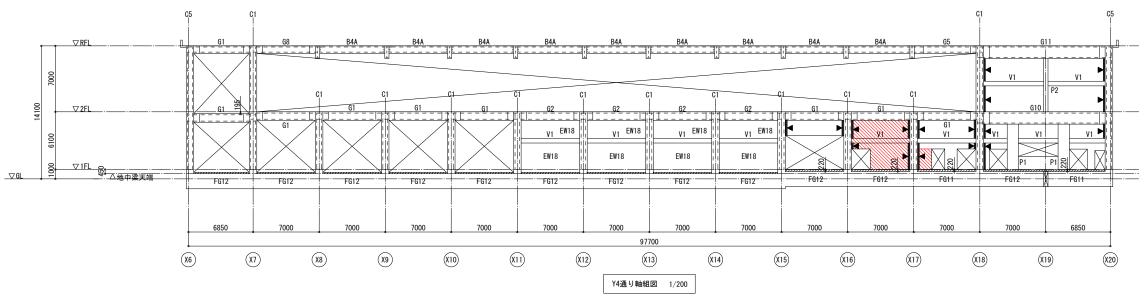
添付資料 3-15 基礎的設計補足資料(壁撤去位置・軸組図)



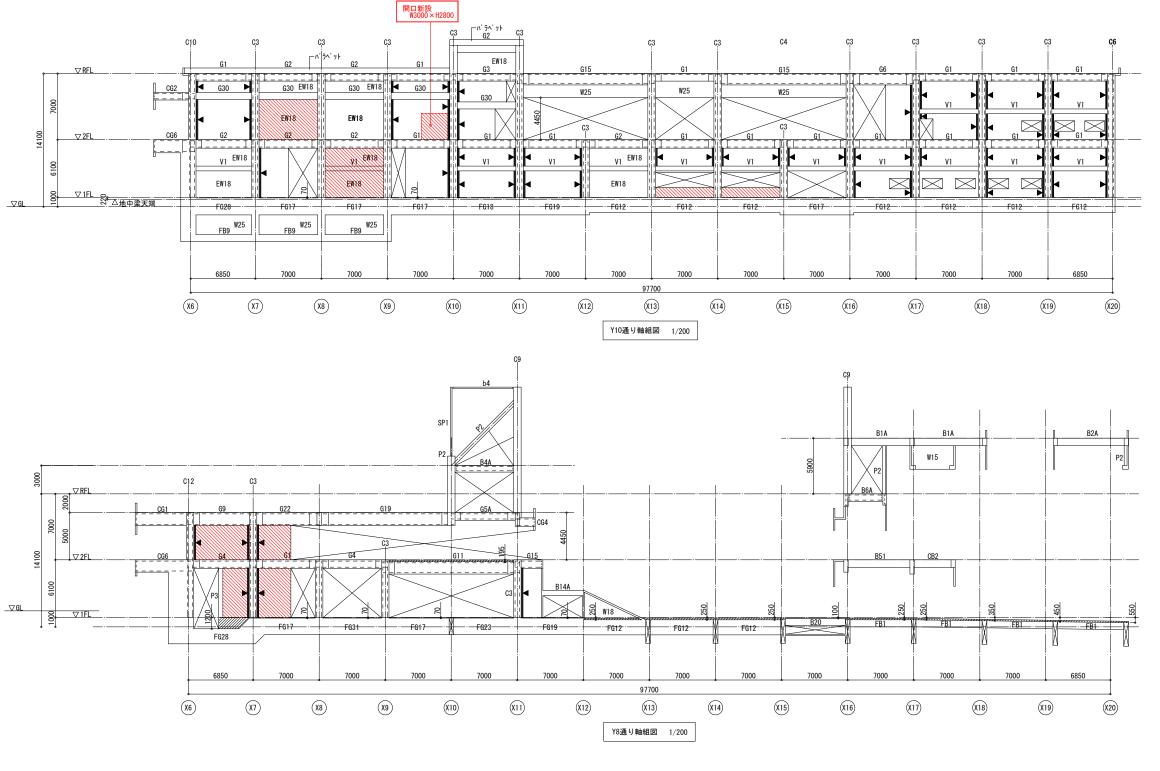


#### 拗土節囲 土涌車頂 特記無き限り下記に上

撤去軋囲 共進争項 特記無さ限り下記による
1. の壁は撤去するRC壁の範囲を示す。
2. 撤去する壁厚は W16 とする。
3. 撤去により露出する鉄筋は、
防錆処理をおこなう。

1.	壁は W18 とする。
2.	▼ 印は構造スリットを示す。
3.	却は梁増打を示す。
4.	2階大梁天端は 2FL-70 とする。
5.	壁斜め補強筋は 5-D13-@200 とする。

工事名称	<sup>事名称</sup> 福岡市博物館リニューアル基礎的設計業務					種別	S	
図面名	改修後	軸組図(	1)				通し番号	
設計番号			作成日	縮尺	A1:1/ 200			**

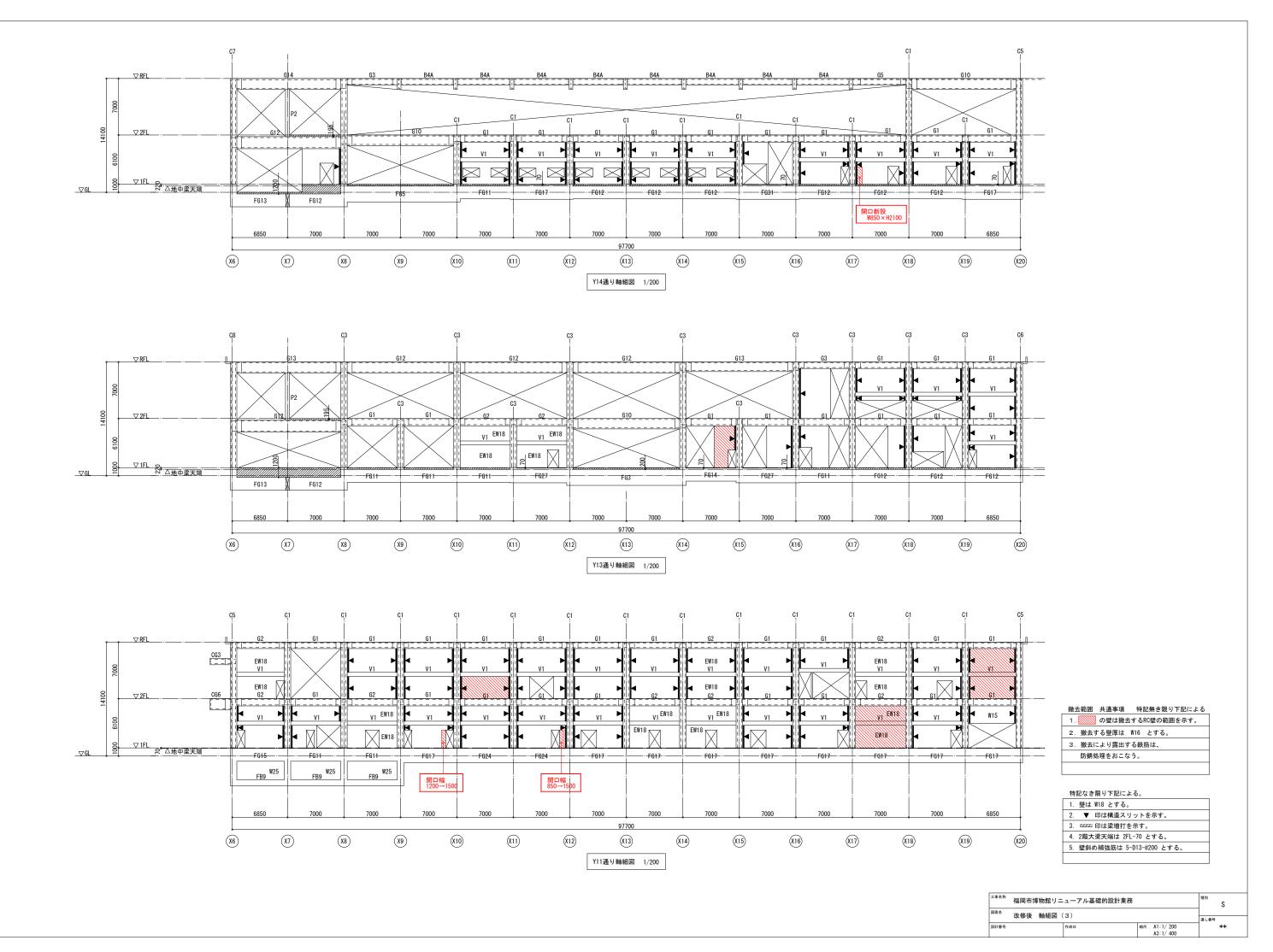


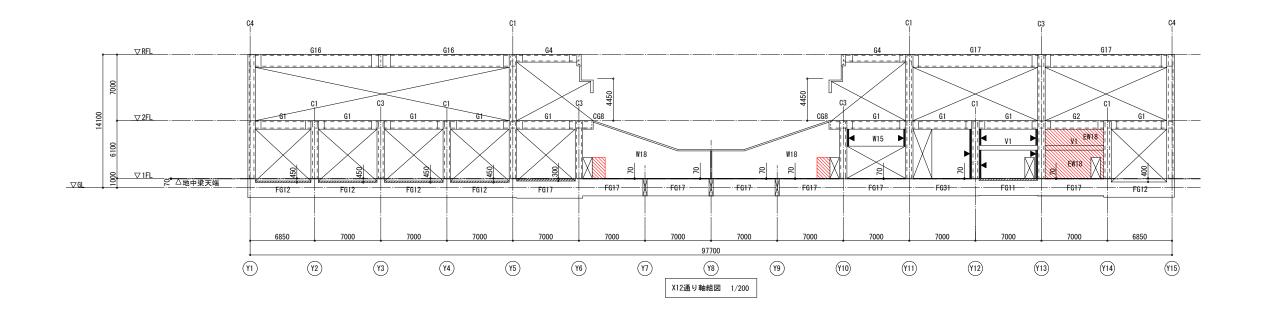
### 撤去範囲 共通事項 特記無き限り下記による

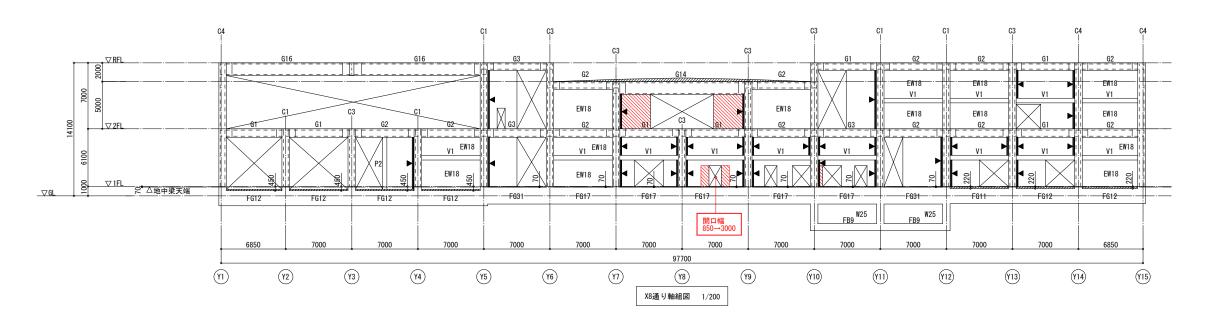
献ム和四 六世争項 付記無と限り下記による
1. の壁は撤去するRC壁の範囲を示す。
2. 撤去する壁厚は W16 とする。
3. 撤去により露出する鉄筋は、
防錆処理をおこなう。

I.	壁は WI8 とする。	
2.	▼ 印は構造スリットを示す。	
3.		
4.	2階大梁天端は 2FL-70 とする。	
5.	壁斜め補強筋は 5-D13-@200 とする。	

工事名称	<sup>  毛祢</sup> 福岡市博物館リニューアル基礎的設計業務					種別	S	
図面名	改修後	軸組図(	2)				通し番号	
設計番号			作成日	縮	沢	A1:1/ 200	1	**







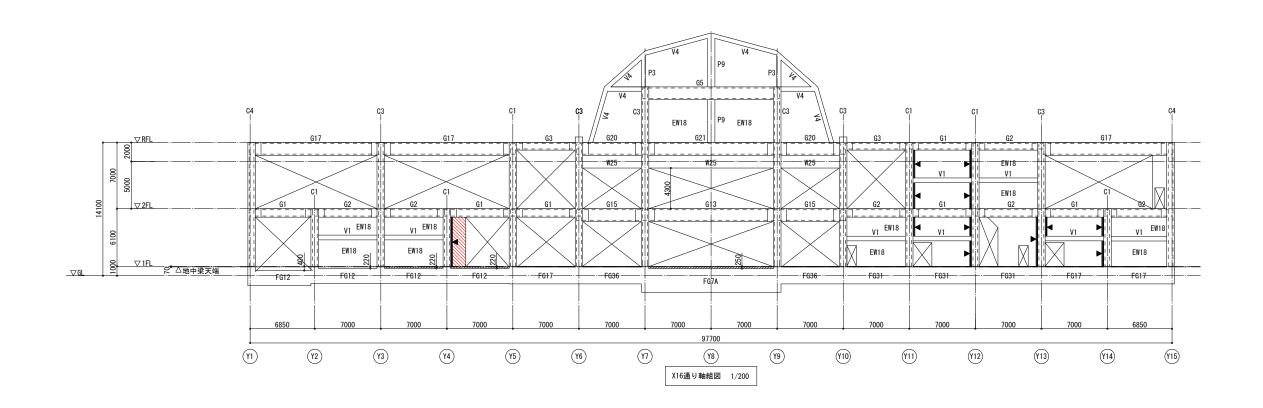
#### 拗土筋囲 共通事項 特記無き限り下記に ヒス

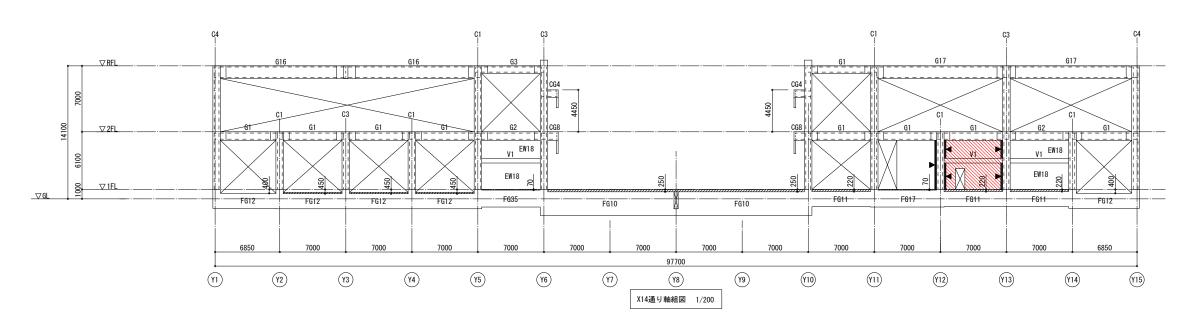
撤去配囲 共進争項 特記無さ限り下記による
1. の壁は撤去するRC壁の範囲を示す。
2. 撤去する壁厚は W16 とする。
3. 撤去により露出する鉄筋は、
防錆処理をおこなう。

## 特記なき限り下記による。 1. 壁は W18 とする。

٠.	2.6 m C / C
2.	▼ 印は構造スリットを示す。
3.	四本の表現を表す。
4.	2階大梁天端は 2FL-70 とする。
5.	壁斜め補強筋は 5-D13-@200 とする。

工事名称	<sup>  毛称</sup> 福岡市博物館リニューアル基礎的設計業務					種別	S
図面名	改修後	軸組図(	4)			通し番号	
設計番号			作成日	縮尺	A1:1/ 200	1	**



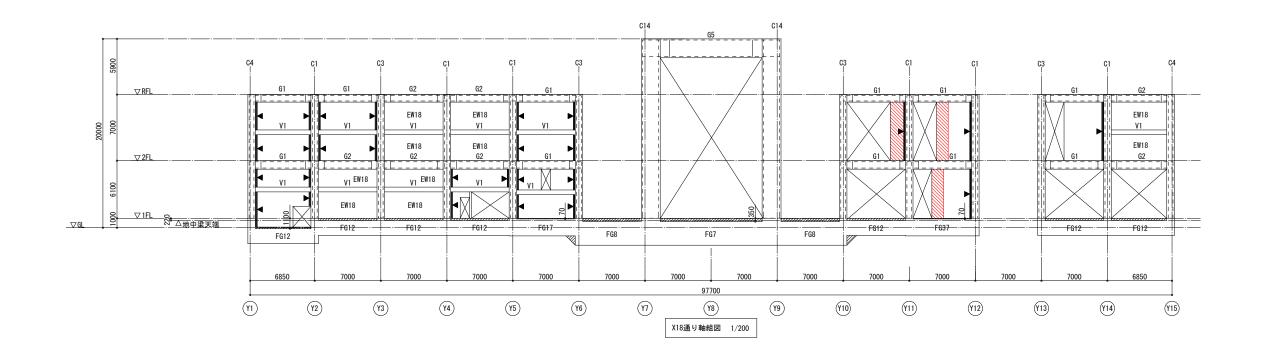


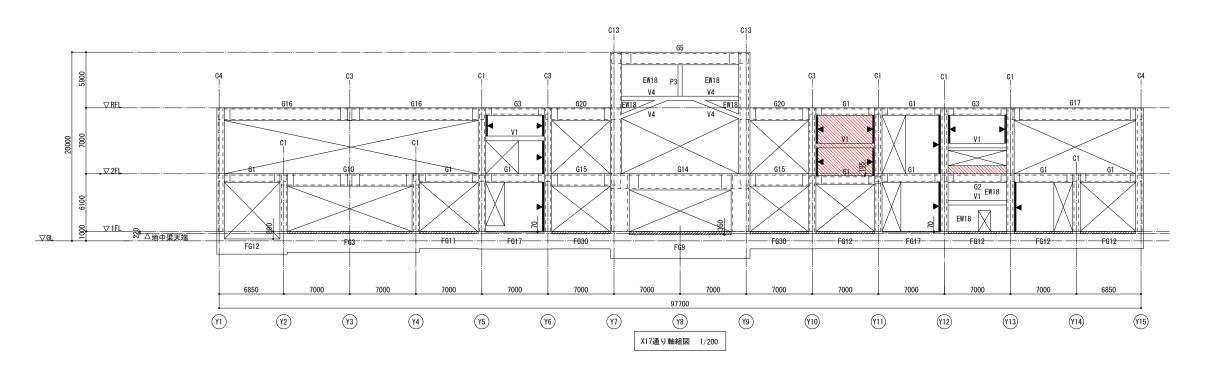
#### 拗去節囲 共通車項 特記無き限り下記による

撤去 配田 共	进争坝	符	に無さ限り	ノト記による
1	壁は撤去	する	RC壁の範囲	囲を示す。
2. 撤去する	壁厚は	W16	とする。	
3. 撤去によ	り露出す	る鉄	筋は、	
防錆処理	をおこな	う。		

1. 壁は W18 とする。	
2. ▼ 印は構造スリットを示す。	
3. ===== 印は梁増打を示す。	
4. 2階大梁天端は 2FL-70 とする。	
5. 壁斜め補強筋は 5-D13-@200 とする。	Т

工事名称	<sup>名称</sup> 福岡市博物館リニューアル基礎的設計業務						S
図面名	改修後	軸組図(	5)			通し番号	
設計番号			作成日	縮尺	A1:1/ 200	1	**





#### 拗去節囲 共通事項 特記無き限り下記による

撤去軛囲 共選争項 特記無さ限り下記による
1. の壁は撤去するRC壁の範囲を示す。
2. 撤去する壁厚は W16 とする。
3. 撤去により露出する鉄筋は、
防錆処理をおこなう。

1.	壁は ₩18 と9 る。
2.	▼ 印は構造スリットを示す。
3.	××× 印は梁増打を示す。
4.	2階大梁天端は 2FL-70 とする。
5.	壁斜め補強筋は 5-D13-@200 とする。

工事名称	福岡市博物館リニューアル基礎的設計業務						種別 S	
図面名	改修後	軸組図(	6)			通し番号		
設計番号			作成日	縮尺	A1:1/ 200	7	**	